

疾病予防運動施設 健康塾のご案内

昨年9月より 疾病予防運動施設 **健康塾**が西宮渡辺心臓脳・血管センター
東川向かいに移転・リニューアルオープンしました！

体操教室



自由参加で様々な体操を
集団で行います

パーソナル



スタッフがマンツーマンで
運動のサポートをします

マシン



専門知識を持ったスタッフが
オーダーメイドのプログラ
ムを提案します

興味がある、見学・体験したい、入会方法が解らないなど
お気軽にお問い合わせください！

TEL：0798-36-1166

住所：西宮市六湛寺町2丁目1番107号



メディカルフィットネス 健康塾

見学・体験受付中です！



形成外科・美容医療センターからのお知らせ

切らずに行うワキ汗・ワキガ治療 **ミラドライ** 導入しました！

ミラドライ (miraDry®) は、マイクロ波エネルギーを用いてワキの
汗腺そのものを破壊する医療機器による治療です。(自費診療)

ミラドライはこのような方に適しています

- ワキ汗の量をしっかり減らしたい方
- ワキガ(におい)の改善を希望される方
- 長期的な効果を期待したい方
- 医師による丁寧な評価・治療を重視したい方。



当センターでの症例は、ホーム
ページやインスタグラムでご覧
いただくことができます。
ぜひご覧ください。

URL：
<https://www.maehama-clinic.jp/>

第129回循環器診療セミナーを開催しました



森田英晃先生

昨年10月16日「第129回循環器診療セミナー in 西宮」を西宮市医師会内科医会、一般社団法人循環器フォー
ラム in 西宮との共催のもと、西宮渡辺病院 新棟5階 大会議室にて開催させていただきました。

特別講演Ⅰでは、大阪医科大学 循環器内科 教授 森田 英晃 先生より『地域とともに診る循環器疾患～持続
可能な紹介体制の構築を目指して～』のテーマで、また 特別講演Ⅱでは、神戸大学医学部附属病
院 副病院長 兼 循環器内科主任教授 大竹 寛雅 先生より『神戸大学循環器内科の新たな歩み
～虚血性心疾患患者に対する多面的アプローチ～』のテーマで御講演頂きました。

当日は、55名の方に参加をいただき、盛況に本セミナーを開催することができました。



大竹寛雅先生

法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 勝呂クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ
グループホームてまりの家 / 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ

サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 健康塾

通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター

- 社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部

【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-0199

【URL】<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>

社会医療法人渡邊高記念会 広報誌

わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine

vol.143

2026.1.15



新年のご挨拶

理事長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会 理事長

佐々木 恭子



明けましておめでとうございます。

昨年、夏は大雨の被害に驚き、秋にはいつまでも冬眠しない
熊さんたちに怯え、秋に誕生した女性初の高市総理は神戸大学
出身で青春を神戸で過ごされた方、古くは女性初の政党政首
で女性初の衆議院議員議長を務められた土井たか子さん、そし
て小池百合子 現東京都知事も阪神間の出身、ほんの少し嬉しい
気持ちになりながらも年末は広域火災や頻発する地震、どうか
今年こそは良い年になりますようにと願う新年です。

これからしばらく続く高齢化社会、目減りする年金や給与、
物価高に人手不足、争いの絶えない国際社会、穏やかではな
い近隣諸国、どれをとっても不安なことばかり、全ての問題
の行き着く先が予想を超えたスピードで進む少子化とそれに
伴う国力の低下である以上、我々の置かれている状況はそう
簡単には改善されません。

増え続ける医療費が社会問題となる時代に、費用対効果に
焦点を当て医療の様々な状況が無駄と断罪する理論はわかり
やすく説得力が有りますが、数字や目に見える結果だけでは

語れないのが医療で有り介護です。

ここ数年行って来た西宮渡辺病院の改修工事もやっと完結
する予定です。

今年は最新鋭のダビンチV(外科手術支援ロボット)を導入、
消化器外科、泌尿器科でロボット手術を開始する予定です。
西宮渡辺心臓脳・血管センターは病床数を増やし SCU(脳卒
中ケアユニット)を再開、4月からは各科に於いて専門指導
医を増員しての体制強化です。

日増しに厳しさを増す病院運営ですが、嘆いてばかりでは
明るい未来への道はありません。

今年も前進を続ける私達である事を決意しています。

暖かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

皆様にとって素晴らしい一年となります様に、ご健勝をお祈
り致します。

管理者 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会 副理事長
兼 西宮渡辺病院 管理者

佐々木 健陽



新年あけましておめでとうございます。

昨年、西宮渡辺病院は創立60周年、還暦という大きな節
目を迎え、新たな出発の年となりました。
ここに至るまで、多くのご縁に支えられてきたことに、あら
ためて深く感謝申し上げます。

これまでいただいたご縁、そしてこれから生まれる新たなご
縁を大切にしながら、法人一丸となって「敬天愛人」の理念
のもと、地域の皆さまに、安全で信頼される最良の医療・介
護を提供すべく、取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申
上げます。

管理者 ご挨拶

西宮渡辺心臓脳・血管センター
管理者 兼 院長

増山 理



新年、明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は当センター創立20周年を迎えました。20年でここま
で成長してこられたのも、『敬天愛人』～命を敬い人を愛する
医療の実践～という病院の理念が地域の皆さまに受け入れら
れてきたからだろうと思います。

当センターは循環器内科(不整脈科を含む)・心臓血管外科・
脳神経外科が中心の病院ですが、急性期疾患・救急疾患に対
しては、ERを充実し、断らない救急医療を実践しております。
また、急性期医療だけでなく、慢性期疾患、さらにはリハビ
リテーションまでいろいろなステージの患者さまに最高の医
療を提供できるようになって参りました。各部門のメディカ
ルスタッフと協力して今年もますます発展していきたいと思
いますので、皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

今年が皆さまにとっても幸多い一年であることをお祈りい
たします。



URL



LINE

新年のご挨拶



西宮渡辺病院

院長 猪熊 哲朗

新年明けましておめでとうございます。

昨年、西宮渡辺病院は、無事、開院 60 周年を迎えることができました。

私自身は、佐々木健陽先生（現 西宮渡辺病院管理者）のあとをつぎ、昨年 4 月より、院長として勤務しております。

本年は、救急医療体制を更に充実するため、HCU の増床・手術室の増室をはかり、HCU24 床、急性期一般病床 142 床に回復期リハビリテーション病床を加え、計 190 床の体制となる予定です。

法人内の西宮渡辺心臓脳・血管センター、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院とも密接に連携し、急性期からリハビリ・回復期まで切れ目ない医療を提供してまいります。

今後、日本全体において超高齢化社会を迎えて、地域に密着した医療・介護はますます重要となります。

当院は、これからも地域の皆様の命と健康を守るという使命を果たしてまいり所存です。

引き続き、皆さまの暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

私自身も地域医療の発展のため、全力を尽くしてまいります。

2026 年もどうぞよろしくお願いいたします。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副理事長 渡邊 慶明

「敬天愛人」「住み慣れた街で最新で最良の医療を」という創設者の思いが息づく当法人に戻り、6 年目を迎えました。

昨年は設立 60 周年という節目を迎え、改めて原点を見つめ直す機会となりました。田んぼの中に小さな病院に始まり、「門を閉ざさず最善を尽くす」姿勢は、震災やコロナ禍を経ても変わらず受け継がれています。

本年は新体制のもと、ダビンチ導入など新たな挑戦も始まります。逆風の時代だからこそ前に進み、地域の安心と安全に貢献してまいります。

2026 年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

西宮渡辺病院

副理事長 佐々木 俊治

新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いいたします。

昨年度は当法人にとって 60 周年の節目の年でした。ここまで来られたのも職員の努力とともに皆様のおかげと大変に感謝しております。節目の年を超えましたが、我々は歩みを止めることはありません。昨年度は新たな手術機械による脊椎低侵襲手術の開始、耳鼻科手術の開始、緊急を含む外科手術の増加などもあり、過去最高の手術件数となりました。また猪熊院長の就任もあり内視鏡件数も過去最高のペースでその勢いは現在も続いています。

今年最新のダビンチ 5 によるロボット手術の開始、婦人科、泌尿器科の手術の開始などを予定しております。

今年も、地域の皆様により良い医療を提供していく所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

西宮渡辺病院

副院長 正田 悦朗

2025 年は例年同様、高齢者の骨粗鬆症をベースとした股関節周囲骨折、肩関節周囲骨折、手首の骨折などを中心に約 500 件の手術を行いました。

高齢者の方は下肢の骨折などで動けなくなると急に筋力が落ち、寝たきりになってしまうため、早期に離床しリハビリテーションを開始する必要があります。このため、できるだけ早く手術を行うことが勧められています。

整形外科スタッフの増加、手術室スタッフの増加、麻酔科医の充実などで、かなり早い時期に手術が行えるようになっています。また、これらの骨折は骨粗鬆症がベースにありますので、特に股関節周囲の骨折では術後に多職種による投薬、リハビリテーション、栄養指導など次の骨折を起こさない取り組みを行なっています。近年人工関節手術を受けられる方が増えていますが、それに伴いその周囲で骨折が起きることも増加しています。このような場合も人工関節に影響が出ないように治療を行っていますが、人工関節の入れ替えが必要となってしまうこともあります。

また、比較的若い方の足関節周囲骨折、鎖骨骨折などの治療も手術を中心に治療しています。足関節周囲の骨折では、腫れが強く水泡ができたりして、手術が困難となったり、傷の治りが悪かったりすることがあります。このような方には、通常のギプスやシーネで待機するのではなく、受診日あるいは早期に創外固定をして腫れが引くのを待って手術を行なっています。

また、定型的な骨折ばかりでなく、かなり複雑な骨折や緊急を要する骨折、脱臼の治療も行うことができるようになっています。

さらに西宮渡辺心臓脳・血管センターの協力で心臓に重い疾患を抱えた方も西宮渡辺心臓脳・血管センターで骨折の手術ができる体制が整ってきており、実際に手術を開始しました。

新年に当たりまして、法人全体で協力し、引き続き適切な治療をお届けしたいと考えています。

新年のご挨拶



西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 合田 亜希子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆さまをはじめ、多くの方々から当院の診療・活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。日々の診療や取り組みは、患者さん、ご家族、そして地域の皆さまとの信頼の積み重ねによって支えられていることを、あらためて実感しております。医療を取り巻く環境は年々大きく変化しておりますが、これからも「安心して相談できる病院」「信頼される医療」を大切に、一人ひとりに寄り添った医療の提供に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 山根 崇史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、西宮渡辺心臓脳・血管センター 循環器内科に格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

2025 年は循環器内科では経皮的冠動脈形成術（PCI）の件数が 469 件、経カテーテル大動脈弁植え込み術（TAVI）が 25 件と 2024 年と同程度の件数を維持することができました。2026 年も当科は、心不全、虚血性心疾患、不整脈、構造的心疾患など幅広い循環器疾患に対し、最新の知見と確かな技術に基づいた安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。さらに、多職種によるチーム医療の充実、地域医療機関との連携強化を通じ、救急から慢性期まで切れ目のない診療体制を推進し、患者さん一人ひとりに寄り添う医療を実践してまいります。本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますよう祈念申し上げますとともに、引き続きのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

管理者 兼 院長 槌田 昌平

新年あけましておめでとうございます。

昨年、西宮渡辺病院と西宮渡辺心臓脳・血管センターはそれぞれ開院 60 年、20 年という節目を迎えましたが、当リハビリテーション病院は本年で開院 8 年目となります。

最近が高齢で合併症リスクの高い患者さんの受け入れも増えており、個々の状態に応じた包括的な全身管理のもとでリハビリテーションを進める重要性が高まっています。同一施設内の介護老人保健施設「ハートケア西宮わたなべ」との連携も、今後ますます欠かせません。

本年も職員一同、より質の高いリハビリの提供に努めてまいります。6 年目を迎える形成外科・美容医療センターともども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック

管理者 兼 院長 山室 淳

新年あけましておめでとうございます。

2021 年 11 月 1 日神戸市東灘区に、西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニックを開院して、充実した医療サービスを提供できるように頑張っております。2023 年コロナ感染症で苦労いたしましたが、発熱外来を積極的に行った結果から、東灘・芦屋地域の患者さんより信頼を得ました。現在では、心臓・脳血管疾患の患者さんと神戸大学・大阪大学医学部付属病院 糖尿病内科専門医先生方のご協力から糖尿病疾患の患者さんも多く受診いただいております。東灘区深江地域近隣のご開業の先生方と協力し合い日常診療を行っており、多くの先生方と知り合える機会をいただきました。

2024 年 4 月より、神戸市東灘区医師会 医療安全対策部理事、深江地区理事に就任し、2 年間で 30 件ほどの医療案件を担当いたしました。2026 年 4 月からは神戸市東灘区医師会三役に就任し、会計理事を務めることになりました。益々、東灘区における循環器疾患の診療に邁進していきますので、ご指導・ご鞭撻を宜しくをお願いいたします。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック

院長 矢野 雅浩

新年あけましておめでとうございます。2024 年 4 月より「西宮渡辺心臓脳・血管センター広田クリニック」にて院長を務めている矢野と申します。

広田神社よりおよそ徒歩 8 分の国道 171 号線にほぼ面した位置にあるクリニックで、循環器や一般内科の一次診療、ワクチンや健診業務および心臓リハビリテーションを担当しております。

西宮渡辺病院本院や西宮渡辺心臓脳・血管センターと連携を取りつつ、プライマリーケアを中心とした地域医療発展に微力ながら努めております。

心臓リハビリテーションの適応等につき、お気軽にご相談いただければ幸いです。

今後とも引き続きよろしくお願い致します。

勝呂クリニック

院長 勝呂 元彦

明けましておめでとうございます。

昨年 4 月から勤務を始めました勝呂クリニックの勝呂です。1 年前は間質性肺炎のため入院加療をしていました。呼吸困難がひどく、しばらくは車いす生活をしていました。

昨年 4 月から午前外来を週 2 回、水曜日午後から本院手術場で肛門手術を毎週 3 例施行しています。本院の外科ドクターの助けを受けながら、何とか無事に 9 か月が過ぎました。自分の体力を過信しないように今年も西宮渡辺病院の業績アップに協力して行くつもりです。皆さん、よろしくお願い致します。